

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



2020年6月17日【第1173回】



クラブ会長ターゲット
「友情を育み、地域社会に貢献する」
"Foster friendships,
Contribute to the community."
2019-2020年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤正樹



国際ロータリーテーマ
「ロータリーは世界をつなぐ」
"ROTARY CONNECTS
THE WORLD"
2019-2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

創立：1994年8月8日
会長：佐藤正樹
副会長：高橋映治
幹事：杉浦孝浩
会報委員長：勝間田健一

6月17日の卓話	6月3日の出席率	6月24日の卓話
「今年度第3回・次年度第1回 合同クラブ協議会」	会員在籍者数 44名 会員出席者数 33名 会員欠席者数 11名 本日の出席率 75.00%	最終例会 「退任挨拶」 (12:30~13:40)

《第1172回 例会報告 2020年6月3日》

■ビジター紹介：小松会員
長田祐之様（東京東RC）

司会：佐藤大輔会員



■点鐘：佐藤正樹会長
本日は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、「ロータリーソング」・「四つのテスト」・「ロータリーの目的」の唱和は行いません。



■来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤正樹会長
ガバナー補佐 田村純治様
次年度ガバナー補佐 海老沼孝二様
ゲストスピーカー
元東分区ガバナー補佐 齊藤実様
東京臨海RC会長 佐藤正樹様
東京臨海RC次期会長 佐久間裕章様



ガバナー補佐 田村純治様

皆様、久しぶりの例会開催おめでとうございます。IMと地区大会につきましては、皆様方にご協力いただきまして本当にありがとうございました。また、フェイスシールドを地区で医師会に34,000個をお配りさせていただきましたことをご報告いたします。それから、財団より災害救済補助金というのが出るとのことなので、当地区も立候補いたしております。



次年度ガバナー補佐 海老沼孝二様

7月から運営を始めて参りますので、次期の佐久間会長、坂本幹事におかれましても大変かと思いますが、よろしく願いいたします。東京臨海RCのことを知り、いかにより正しくガバナーに伝え、お手伝いできるかが私の役目だと思っておりますので、1年間の活動内容を頭に入れて、自分の務めを全うしてまいります。どうぞ一年間よろしくお願いいたします。



■ 4月・5月・6月のお祝い：井上親睦委員長

◇ 4月のお祝い

- ・ 会員誕生日 舩本俊輔会員、白井正三郎会員、笹本寛治会員、太田智久会員、中村群一会員、田村浩康会員
- ・ 奥様誕生日 佐久間裕章会員夫人、佐久間栄一会員夫人、今井忠会員夫人、大澤成美会員夫人、伊藤丈史会員夫人、櫻田誠一会員夫人、太田智久会員夫人
- ・ 結婚記念日 篠塚慎之介会員、篠塚仁会員、佐藤大輔会員、村社研太郎会員、尾身治彦会員、寺田雄司会員、大西洋平会員
- ・ 出席 100% 該当者いらっしゃいません。

◇ 5月のお祝い

- ・ 会員誕生日 西脇昌会員、伊藤丈史会員、地引智明会員、寺田雄司会員
- ・ 奥様誕生日 白井正三郎会員夫人
- ・ 結婚記念日 柴田剛会員、西脇昌会員
- ・ 出席 100% 10年：田村浩康会員
3年：酒井教吉会員
1年：勝間田健一会員

◇ 6月のお祝い

- ・ 会員誕生日 佐藤輝彦会員、小林健一郎会員、柴田剛会員、井上晴貴会員、本多信雄会員
- ・ 奥様誕生日 須藤宗之助会員夫人、勝間田健一会員夫人、佐藤大輔会員夫人
- ・ 結婚記念日 酒井教吉会員、田村浩康会員、櫻田誠一会員
- ・ 出席 100% 1年：坂本康朋会員



■ 会長報告：佐藤正樹会長

- ・ 例会再開にあたっての、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらの今後の例会実施方法について。



- ・ 入会式：寺田 雄司（てらだ ゆうじ）様
- ①職業分類：ハウスクリーニング
- ②推薦者：地引智明会員・村社研太郎会員
- ③カウンセラー：本多信雄会員
- ④所属委員会：会場監督委員会



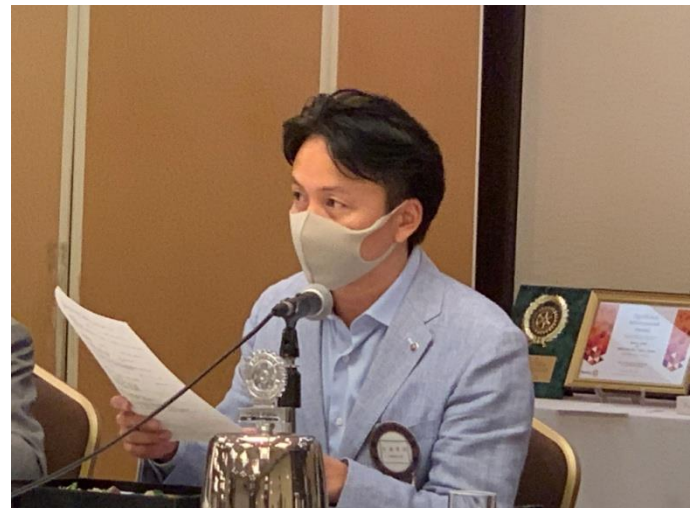
- ・寺田雄司会員 入会式スピーチ
みなさんこんにちは。当会を紹介いただいた地引会員とは幼少のころから時間を共に過ごしております。このロータリークラブという組織は、非常に格式の高い組織だと思っていたのですが、本多先輩、地引さん、村社さんにお声がけいただきまして、入会させていただくことになりました。まだまだ勉強不足な経営者ではございますが、頑張っていきます。ちなみに趣味はゴルフで大好きです。何卒、よろしく願いいたします。



- ・一般財団法人比国育英会バギオ基金より感謝状が届きましたので贈呈いたします。
齊藤実会員：第 65 回感謝状
公益財団法人京葉鈴木記念財団様：第 24 回感謝状
酒井教吉会員：第 4 回感謝状
東京臨海ロータリークラブ：第 21 回感謝状



- ・鈴木孝行会員が、第 15 回目、第 16 回目の紺綬褒章を受章されましたので、クラブよりお祝い金を贈呈いたします。



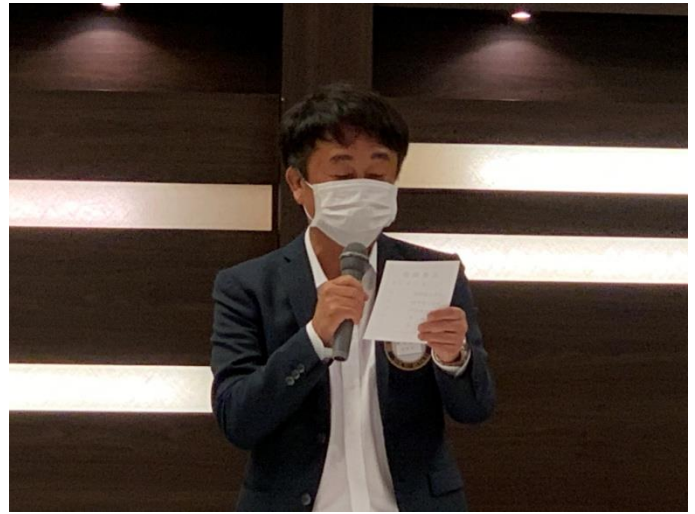
■ 幹事報告：杉浦幹事

- ・次週 6 月 10 日（水）は、特別休会です。
- ・ガバナー月信 6 月号は、6 月 1 日にメール送信いたしました。
- ・第 2580 地区ローターアクト年次大会は、6 月 20 日（土）15：00-17：00 オンラインにて開催いたします。登録頂ける方は、6 月 9 日（火）までに、東京臨海 RC 事務局宛、お申込みくださるようお願い致します。登録料：1,000 円
- ・第 2580 地区ガバナー事務所からの連絡で、首里城火災に対する支援金は、他地区からの支援金も寄せられ合計 2,031,120 円になり、全額を那覇市の口座に振込みしたとのことです。
- ・今年度活動実績と引継書をまだ提出されていない担当委員の方は、至急、ご提出をお願い致します。
- ・6 月のロータリーレートは、1 ドル=108 円です。
- ・定例理事役員会を本日例会後、部屋を移動せずにこの例会場にて開催いたします。

■委員会報告



- ・坂本康朋次年度幹事
次年度活動方針と計画書の提出締切は5月末日でした。まだ提出されていない方は、至急、提出をお願い致します。



- 出席状況報告：地引委員
⇒詳細1頁バナー下に掲載。



- ・村社次年度社会奉仕委員長
こんにちは。来年度社会奉仕委員長の村社です。今回、週報に載せていただきましたが、当社にてマスクを販売していることもあり、3月の後半から4月頭にマスクを入荷することができましたので、販売する前に、先に病院と江戸川区役所へ寄付させていただきました。これは、ロータリークラブ活動をしているからこそ、このような行動が取れたのだと思います。このような人間になれたことはロータリーがあってこそです。本当に感謝いたしております。ありがとうございます。



- ニコニコBOX報告：白幡委員
(ご意向) 久しぶりの例会、おめでとうございます。：田村純治ガバナー補佐（東京江戸川中央RC）
(ご意向) 次年度ガバナー補佐としてお世話になります。宜しくお願いします。：海老沼孝二次年度ガバナー補佐（東京江北RC）
(ご意向) 皆さんお久しぶりです。例会が再開できる事、嬉しく思います。：佐藤正樹会長、高橋副会長、杉浦幹事、佐久間裕章会員、小松会員、櫻田会員、井上会員、入澤会員、須藤会員、酒井会員、村社会員、坂本康朋会員、勝間田会員、柴田会員、山田会員、太田会員、篠塚慎之介会員、佐久間栄一会員、大澤会員、本多会員、白幡会員
(ご意向) 寺田さん、入会おめでとうございます。宜しくお願い致します。：佐藤大輔会員
(ご意向) 久しぶりによろしくお祈いします。：斉藤会員
(ご意向) 例会が出来る事に感謝です。：伊藤会員

【26件 72,000円 今年度累計 1,626,000円】

■卓話

「不易流行 ロータリーの来し方、行く末」



・元東分区ガバナー補佐 齊藤 実様

本日の卓話については、現会長と次年度会長と共に今年度の振り返りと次年度の展望をお話いただこうと思います。不易流行とは、変えてはいけないうことと時代に合わせて進化していかなければならないことを言います。115年前に、普通の弁護士を中心に、決して高学歴の持ち主とは言えない平凡な店主や、中小企業の経営者たちが集まってロータリークラブが発足したことは、特筆するべきことではないでしょうか。しかし、日本では、社会的な地位や事業規模を重要視して発足しています。本来、ロータリークラブはエリートと呼ばれる人を集めて作った組織ではなく、ロータリー活動を通して沢山のエリートが誕生したことを忘れてはならないと思います。我々臨海RCも26年前の1994年に誕生しました。多い時で60名近い会員がいたりもしましたし、ルールも色々と変わってきましたが、それらは会員の増加につながったのでしょうか。むしろ減少しています。今回のコロナウィルスの発生は近世最大の人類に対する脅威です。世界大恐慌の様相で、まさにパンデミックです。確実に世界のロータリアンは激減するのではないのでしょうか。会員増加よりも退会防止が最優先になってくるように思います。ここ近年の会員減少のベスト3がアメリカ、カナダ、日本です。経済先進国の会員増強は厳しくなっています。それに対して、国際ロータリーが女性に手を差し伸べる発展途上国は会員が増えております。当然財政的な均等が取れなくなっています。これをどう対処していくかが、これからの難題だと思います。各地域それぞれが大幅な自由裁量権を持つ半独立組織となり、国際ロータリーは連邦政府的な役割でいいのかなと思います。地区・分区ではなく、各クラブの自主性に権限を与えていくというふうにしていかなくてははいけないうのかなと思います。

先日、JR中央線に乗っていましたら、松葉杖をついた方が乗車してきました。すると、椅子の真ん中に座っていた方が席を譲りました。ドアからそこまで到着する間、既に電車は発車して、バランスを崩したりしていました。そして、その松葉杖をついてた方が降車するときも、ドアまで遠いので、同じくバランスを崩してしまうわけです。それを見ていた時に、私は、席の端の、ドアに一番近い方が席を譲るべきなのではないかと思いました。この状況を、様々な状況の中で、誰が奉仕活動をしていくべきなのかなという観点で考えました。

また、臨海東RCでは4名の退会者が出るそうです。親クラブとして我々は、同業者などの友人がいらっしゃいましたら、支援、ご協力をしていただけたらと思います。

自分なりにこれからの生き様の指針となる一文を読んで終わりにしたいと思います。青い大空の下、広い野原の中に、一本の線香がたっている。細い小さな線香で、誰も気づかず通り過ぎてしまう一本の線香です。しかし、周りに何かいい匂いが漂っています。誰一人見向いてくれなくても線香は一人ひっそりと燃え続けています。そして、微かによい香りを残しています。そんな自分に僕はなりたいと思います。本日はありがとうございました。



・東京臨海RC会長 佐藤 正樹様

僕は東京臨海RCが大好きです。それは、一言で言うと、学びが多いということです。それがロータリーの神髄かもしれません。私は13年前に入会いたしましたが、何もわからず、人前で話したこともなく、ただ登記料を払って会社を作っただけで会社の運営方法もわからなかったです。ただ人一倍、欲があったので、稼ぎたいという安易な動機で会社を興しました。そこから4年位経ったときに本多会員と高橋会員にご縁をいただき、この東京臨海RCに

入れさせていただいて今があります。今の僕があるのは、このロータリークラブで学ばせていただいたからです。直近の話で申しますと、3月の第1週の例会を最後に約3か月間空いてしまい、その間、バギオ訪問、日台親善会議、ハワイの世界大会が無くなってしまいました。この3か月間で一番思ったことは、自分は無力だということを感じました。ロータリークラブが大好きで、ロータリークラブがあって僕自身がいるわけで、御恩返しをしたいから会長をやらせていただいているのに、この3か月間、何もできていなくて、自分の会社を何とかしなければならぬという方に意識がいつてしまって、本来の会長としてどうあるべきか、どう行動するべきかというところに関して、反省するところが多いです。幸い約1か月間の任期が残っておりますので、少しでも、自分が感じた無力さに対して、何ができるのかを、しっかり皆さんと相談しながら、しっかり最後までできる限りやらせていただきたいと思います。



・東京臨海RC次期会長 佐久間裕章様

このような状況の中で会長を務めさせていただける事を皆様に感謝いたします。この度、コロナの影響は当社でもありましたが、この状況の中で、次年度会長として何ができるかと考えました。2月頃からメンバー間のSNS上で、補助金の内容などの情報シェアが盛んになりました。私はこのようなクラブはあまりないのではないかなと思いましたが、自然とみんなが、不易の部分で、4つのテストを実行できたのではないかなと思いましたが、3番目の好意と友情を深めるかというところで考えたときに、東京臨海RCならではのカラーで、自ずとこういった行動がブランディングにつながっていくのではないかなと思いましたが、次年度は、国際ロータリーのテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」と定めておりますが、この、機会の扉を開くきっかけを、会員増強につなげていきたいです。若手のメンバーというのは、会社的にも人間的にも未熟なところが多々

あると思います。私自身、東京青年会議所の現役メンバーでありますし、次年度、その仲間の入会も決まっておりますので、皆さんと共に成長できるクラブを作りたいと思っております。ですので、次年度からは若いメンバーが増え、ロータリーのことを知らない人たちが増えますので、諸先輩方の皆様の助言をいただいたり、ご叱咤いただいたりと、是非活気あるクラブを作りたいと思っております。そして、20年ぶりの50人クラブを必ず達成していき、共にロータリーライフを楽しくしていきたいと思っております。また、ロータリークラブの魅力の皆様のお友達にもお伝えいただくことでブランディングにもつながっていくと思っておりますし、増強されていくのではないかと思います。東京臨海RCメンバーが自然とできている4つのテストが我々クラブの繁栄につながっていくと思っております。このような状況ではございますが、次年度も一年間、ご協力を賜りながら一生懸命頑張らせて参りますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度出来なかった江戸川花火大会の江戸リバーグリーンフェスタという新規事業を行いたいのと、今年度から行いましたパラポールフェスタの共催を次年度も行いたいのですが、地域社会発展ということで、区民の皆様を取り巻いていく仕組みを作って、事業を巻き込んで一緒に地域活性化に向けて動くべきなのではないかなと思っております。江戸リバーグリーンフェスタなどは参加される方が多く、行政に携わっているメンバーもいらっしゃいますので発信していただき、まだまだロータリークラブを知らない方へも認知されるようにしていきたいです。そして、多くの江戸川区内の会社経営者の方にも同様にすることで、増強にもつながってくると思っております。

■ 点鐘：佐藤正樹会長

